



優れたセーフティ・カルチャーの重要性

こちらは、英文記事「[The importance of a good safety culture](#)」（2020年3月24日付）の和訳です。

SAFETY CULTURE

NEEDS CLEAR LEADERSHIP,
RISK AWARENESS AND
ACCOUNTABILITY



Safety culture
Clear leadership,
risk awareness and
accountability.



www.gard.no



事故調査の結果、事故の前に何らかの人為的ミスがあったことが判明することがよくあります。このような結果が明らかになった場合、通常、手順をさらに増やしたり、船員に対して追加の訓練を実施するといった対応を通じて、問題の解決が模索される傾向にあります。しかし、このような対応で優れたセーフティ・カルチャーを確立することができるのでしょうか。

船長の多くが、明示的または暗黙的にかかる商業的圧力に屈して、船舶の安全性を損なう可能性のある作業を行った経験があることを認めています。競争の激しい市場では、貨物を効率的かつタイムリーに輸送する必要があり、状況によっては、輸送に関する要求を満たすために船舶の安全性を危険に晒さざるを得ない場合があります。しかし、このような葛藤が生じる状況を理解して対応するのに役立つのは、安全を確保するために策定された規則や規制よりも、組織の文化の方であることが研究によって示されています。

このような葛藤は、上級管理者レベルで生じる可能性があります。なぜなら、「Production goal」（生産目標、つまり、サービスの提供）と「Protection goal」（保護目標、つまり安全な作業への配慮）という2つの一見相反する目標に基づいて、リソースを「いずれか」の基準で割り当てなければならないという認識があるためです（2つのPのジレンマ）。

今週のセーフティ・カルチャーに関するポスターは、すべてのステークホルダーに対して、自身が関与する組織のセーフティ・カルチャーを評価し、それを改善する上で自身の役割を果たすよう呼びかけるものです。

詳細情報

以下の Gard 記事では、セーフティ・カルチャーの改善方法について詳しく説明しています。

Insight: [Safety culture - Managing conflicting goals in shipping operation](#) (セーフティ・カルチャー：船舶管理における相反する目標の管理)

Insight: [船の安全と信頼感が根付いた組織](#)

損失防止ポスター: [Safety culture](#) (セーフティ・カルチャー)

本情報は一般的な情報提供のみを目的としています。発行時において提供する情報の正確性および品質の保証には細心の注意を払っていますが、Gard は本情報に依拠することによって生じるいかなる種類の損失または損害に対して一切の責任を負いません。

本情報は日本のメンバー、クライアントおよびその他の利害関係者に対するサービスの一環として、ガードジャパン株式会社により英文から和文に翻訳されております。翻訳の正確性については十分な注意をしておりますが、翻訳された和文は参考上のものであり、すべての点において原文である英文の完全な翻訳であることを証するものではありません。したがって、ガードジャパン株式会社は、原文との内容の不一致については、一切責任を負いません。翻訳文についてご不明な点などありましたらガードジャパン株式会社までご連絡ください。